

2025年度 事業計画

社会福祉法人 平成福社会

1. 2025年度 事業計画の概要

- 経営
 - 稼働率の安定
 - 入所系サービスは98%、通所系は全体で91%を必達目標とする。
 - 入所待機者は常に2名を確保する努力をおこなう。
 - 通所系は要介護1以上の利用者を増やす。介護と支援のバランスを考える。
 - 『みんなが行きたいデイサービス』になる
 - 訪問系サービスは1か月275件の提供を目標とする。
 - 『個人の意思とその人らしさを尊重する』を基本に満足できる在宅生活を送るための手助けを行う。
 - 居宅系サービスは人員配置に合わせたプラン数を獲得する。
 - 経営分析と戦略策定
 - 事業所ごとに毎月の収支の把握
 - 毎月の目標達成度の確認
 - 目標以下の場合はその都度改善策を講じて対応
 - 稼働率や支出状況の把握
 - 適正な人員配置
 - 利用者にとって適正なサービス利用になっているか確認及び検討
 - 法人、グループ内での連携強化
 - 相互に連携、協力体制をもち、ノウハウなどの利点を最大限に生かす。
 - 勉強会、技術交流や情報共有の実施
 - 合同介護技術研修の実施
 - 地域貢献活動の充実
 - 地域行事への参加を積極的に実施する。
 - 地域に根差した福祉サービスの提供の継続
 - 生活バスへの出資の継続
- サービスの質
 - 入居者様・ご家族様に安心して過ごしていただける施設作り

- 本人の状態に合った支援を実施する
 - 落ち着いた温かい雰囲気的空間作り
 - 笑顔で思いやりの心をもった接遇をすること
 - 事故防止に努めた環境と体制作り
 - 利用者様の人格の尊重を行い敬意をもって支援する
 - 利用者様のQOLを高めるための支援を実施する
 - 利用者様の外部との交流機会を増やす
 - 季節のレクリエーションの計画及び実施
 - 感染症予防等の継続
 - 自由な面会の継続
- 人材育成、職場環境の整備
 - 研修の実施
 - 研修への積極的な参加
 - 新入職員（特に介護未経験者）に対するOJT研修体系の確立
 - 職員のスキルアップを図りサービスの質の向上に努める
 - マニュアル類の整備、周知の徹底
 - BCP(事業継続計画) の見直し
 - 災害に対応できるBCPへの修正
 - 業務量の適切な管理と信頼関係を構築できる風通しの良い職場環境の整備
- 感染症への対応の継続
 - 感染防止策のルール、マニュアル等の周知、更新
 - 感染症予防に関する研修の実施
 - 適切な个人防护具、手指衛生等の実施
 - 職員の行動指針の理解、遵守
 - 感染拡大しないための環境整備
 - 感染防止委員会の内容の充実
 - 感染予防の実地訓練の実施
- 人権に関わることへの研修を強化する
 - 高齢者虐待に関する委員会の継続と内容の充実
 - 高齢者虐待に関する研修の実施
 - 身体拘束防止委員会の定期開催と職員への研修の実施
 - 身体拘束防止のための研修会の実施
 - 事例をもとに理解を深める
- 離職率をあげないための工夫
 - アンケート調査の実施
 - 面談の実施
 - 働きやすい職場環境を作る

2. 運営目標（稼働率、利用者数）

高齢者事業

- 特養（稼働率）

*2024年度：2025年3月の見込値を含む

事業所名	2024年度*	2025年度 目標
ヴィラ四日市（入所）【100名】 （ショート）【10名】	97.2% 101.8%	98.8 % (+1.6%) 89.3% (▲12.5%)

- 通所介護（稼働率）

*2024年度：2025年3月の見込値を含む

事業所名	2024年度*	2025年度 目標
ヴィラ四日市通所介護センター【43名】	92.5%	93.4% (+0.9 %)
富洲原通所介護センター【30名】	84.0%	87.1% (+3.1%)

- 訪問介護（延べ人数）

*2024年度：2025年3月の見込値を含む

事業所名	2024年度*	2025年度 目標
ヴィラ四日市在宅介護サービスセンター	3,250名	3,290名 (+40名)

- 居宅（ケアプラン数）

*2024年度：2025年3月の見込値を含む

事業所名	2024年度*	2025年度 目標
ヴィラ四日市在宅介護サービスセンター	194件	209名 (+15名)

- 看護小規模多機能型居宅支援（登録人数）

*2024年度：2025年3月の見込値を含む

事業所名	2024年度*	2025年度 目標
富洲原複合型サービスセンター【29名】	17名	20名(+3名)

2025年 3月18日

2025年度 事業計画

社会福祉法人 平成福社会

対象事業所

高齢者事業

- ヴィラ四日市（ユニット型 特養）【定員：入所-100名 ショート-10名】
 - ヴィラ四日市通所介護センター（通所介護）【定員：43名】
 - ヴィラ四日市在宅介護サービスセンター（訪問介護）
 - ヴィラ四日市在宅介護サービスセンター（居宅）
-

高齢者事業

ヴィラ四日市（ユニット型 特養）【定員：入所-100名 ショート-10名】

- 主な指標 *2024年度：2025年3月の見込値を含む

- 入所

	2024年度*	2025年度 目標
稼働率	97.2%	98.8% (+1.6%)
平均要介護度	3.7	3.8 (+0.1)
単価（人・日）	14,992円	15,058円 (+66円)

- ショート

	2024年度*	2025年度 目標
稼働率	101.8%	89.3% (▲12.5%)
平均要介護度	2.6	2.7 (+0.1)
単価（人・日）	14,295円	14,323円(+28円)

- 実現するための取り組み

- 稼働率

- 特養稼働率目標：98.8%
 - 入所定員：100名
 - 要介護度4・5の受け入れを増やす。
 - 待機者を常時2名確保
- ショートステイ稼働率目標：89.3%
 - ショート定員：10名
 - 特養の空床型を有効に利用する。
 - 利用する実人数を増やす。

- 平均要介護度

- 特養
 - 定期的なアセスメントで適正な介護度となるよう変更申請等の実施
 - 要介護度4以上となるよう介護度4・5の受け入れを増やす。
- ショートステイ
 - 重度の利用者を優先的に受け入れる。
 - ショートでの看取り対応の実施

- 加算について

■ 特養

- 日常生活継続支援加算の算定の継続
 - 日常生活自立度Ⅲ以上の利用者の獲得
 - 介護度４・５の入居者の獲得
- 協力医療機関連携加算Ⅰの算定を目指す。
- 看取り対応の継続
 - 看取り加算の算定

■ ショートステイ

- 看取り加算の算定
- 療養食加算の算定率を増やす。
- 在宅中重度加算算定

○ その他取り組み

■ 特養・ショート共通

- 職員(介護福祉士)の適正配置
- 営業の強化
 - 生活相談員の増員
 - 毎月50件以上の営業の継続
 - 家族との情報共有を密に行う
- 美味しい食事の提供
 - 食事を適温で提供する
- ケアマネ・生活相談員と家族の連携強化
 - 情報共有

■ 環境作り

- 『利用者の立場に立ち思いやりのある介護』の実施
- 利用者の過ごしやすい環境を整備
 - 落ち着いた温かい雰囲気的空間作り
 - 笑顔で思いやりの心を持った接遇
- 職員にも優しい職場を目指す
- 開放的で風通しの良い施設作り

■ 介護技術の向上新人研修の充実

- グループ内研修への積極的参加
 - リモート研修への参加
 - 役職者による研修の実施
- 教育指導の充実

■ 事故防止に努める

- 車いすの点検
- 事故（アクシデント）の検証の実施

- 感染症等の予防の継続
 - 感染予防の意識を継続
 - 隔離対応の際に必要な物品の購入（オーバーテーブル等）
- 自由な面会の継続
 - 入居者様と家族との交流を維持する
 - 職員と家族の交流
- レクリエーションの実施
 - 季節に応じたレクリエーションを企画・実施
 - 楽しく、生活の刺激になるようなレクリエーションを企画
 - 他のユニットの利用者さんとの交流
 - デイサービス利用者との交流等
- 入居者様の人権や人格を尊重した介護を実施する
- 離職率があがらないための工夫
 - アンケート調査
 - 面談の実施
 - 働きやすい職場環境をつくる

ヴィラ四日市通所介護センター（通所介護）【定員：43名】

- 主な指標

*2024年度：2025年3月の見込値を含む

	2024年度*	2025年度 目標
稼働率	92.5%	93.4% (+0.9%)
平均要介護度	1.1	1.2 (+0.1)
単価（人・日）	7,874円	7,931円 (+57円)

- 実現するための取り組み

- 稼働率

- 新規利用者の獲得

- 要介護利用者の獲得

- 稼働率の維持

- 目標稼働率：93%以上 1日平均（目標）：40名

- ケアマネとの信頼関係の継続

- 加算について

- 個別機能訓練加算 Ⅰ（ロ）の継続算定

- 入浴介助加算（Ⅰ）もしくは（Ⅱ）の算定

- ADL維持等加算の算定への実現

- その他取り組み

- 利用者やその家族との信頼関係を構築

- あいさつ

- 情報共有

- 職員の介護力・認知症利用者さんへの対応力向上のための研修

- 認知症の方とのコミュニケーション

- 利用者さん個人の人格を尊重した介護の実施

- 小さな変化に気づく観察力とそれを伝えるコミュニケーション技術を養う

- 家族の変化（精神面・身体的負担）も観察

- 本人のADLの変化・精神的変化に気を配る

- レクリエーションの充実

- SNSでレクリエーションの様子を発信

- 『みんなが行きたいデイサービス』になる

- 感染症対策継続

- 利用者の健康状態の観察

- 安全運転

- 走行車両の定期的な点検・整備を実施する

ヴィラ四日市在宅介護サービスセンター（訪問介護）

- 主な指標

*2024年度：2025年3月の見込値を含む

	2024年度*	2025年度 目標
延べ人数	3,250名	3,290名（+40名）
平均要介護度	1.1	1.1（±0）
単価（人・日）	3,900円	3,966円(+66円)

実現するための取り組み

- 利用者の確保
 - 営業の強化
 - 地域包括支援センター
 - 居宅介護支援事業所
 - 看取り支援の実施
 - 新規利用者の獲得（月2件目標）
 - 緊急・困難ケースの受入れの実施
 - 要介護の利用者を増やす
- 人員確保の取り組み
 - 登録ヘルパーの時間延長
- サービスについて
 - 身体介護の受入れを積極的に行い重度利用者の支援を増やす。
 - 看取り支援の実施
 - 『個人の意思とその人らしさを尊重する』を基本に満足できる在宅生活の手助けを行う
 - 家族との連携を密に行う
- 加算について
 - 特定事業所加算（Ⅱ）の算定の継続
- その他
 - 職員の教育体制の強化
 - 勉強会の実施（月1~2回）
 - ヘルパーの個別課題の解決計画の作成
 - 事例検討会の実施で職員のスキルアップを行う
 - サービス提供責任者による課題抽出を実施し事業所内で検討
 - 新たな生活課題等を分析し担当介護支援専門員に報告
 - サービス内容がわかりやすいパンフレットの作成
 - 職員間の情報共有を確実に行う。
 - スマートフォンを使用したICT化の実施

ヴィラ四日市在宅介護サービスセンター（居宅）

- 主な指標

*2024年度：2025年3月の見込値を含む

	2024年度*	2025年度 目標
ケアプラン数（月）	194件	209件（+15件）
平均要介護度	1.6	1.6（±0）
単価（人・月）	14,308円	14,384円（+76円）

- 実現するための取り組み

- 利用者の確保

- ケアプラン件数の増加を目指す

- 適正なケアマネの人員配置を検討
- ケアマネ1人当たりの目標件数：38件
- 重度利用者（要介護度3・4・5）の獲得

- 営業活動の実施

- 事業所所在地エリア外の在介
- 地域包括支援センター
- 病院の医療連携室

- 総合事業対象者の受入れ増加

- その他

- 困難ケースの受入れ

- 主任ケアマネ3人体制の継続

- 在介区域を超えた利用者の獲得

- 積極的な研修参加

- 地域ケア会議
- 事例検討会
- 医療・介護ネットワーク会議
- スキルアップのための研修への参加

- 居宅サービス計画の作成・技術向上等の介護支援専門員のスキルアップ

- 医療機関とのスムーズな連携
- 地域機関との連携の強化
- 各サービス事業所との連携

2025年 3月18日

2025年度 事業計画 社会福祉法人 平成福社会

対象事業所

高齢者事業

富洲原通所介護センター（通所介護）【定員：30名】

富洲原複合型サービスセンター（看護小規模）【登録定員：29名】

高齢者事業

富洲原通所介護センター（通所介護）【定員：30名】

- 主な指標 *2024年度：2025年3月の見込値を含む

	2024年度*	2025年度 目標
稼働率	84.0%	87.1% (+3.1%)
平均要介護度	1.1	1.1 (±0)
単価（人・日）	7,883円	7,898円 (+15円)

- 実現するための取り組み
 - 稼働率
 - 事業対象者・要支援者・障がい者利用等の受け入れを積極的に行う
 - 人気イベントの継続
 - 食レクの継続
 - 利用者さんの要望に応えた手作りおやつ
 - 季節にあったイベントの開催
 - 営業の強化
 - デイ通信等を利用しリアルタイムな情報発信
 - デイサービス見学の積極的な実施
 - 居宅介護支援事業所及び包括支援センターへの無料お試し体験の案内
 - 営業回数を増やす
 - サービスについて
 - サービス提供時間の延長の検討
 - 送迎時間の拡大
 - 人気イベントの継続と強化
 - 利用者さんに合ったレクレーション内容の実施
 - 専門職のサービス提供内容の充実を図る
 - 地域交流
 - ボランティアの受け入れ
 - 加算について
 - サービス提供体制強化加算（Ⅰ）の継続算定
 - 個別機能訓練加算 Ⅰ（□）の算定
 - 入浴介助加算（Ⅰ）もしくは（Ⅱ）の算定
 - 介護職員処遇改善加算の増率
 - ADL維持等加算の算定実現

- その他取り組み
 - 要支援利用者より要介護者の割合を高くする。
 - 令和7年1月現在 要介護実人数45人：要支援実人数43人
 - 要介護と要支援の比率目標
 - （要介護）6：（要支援）4
 - 研修実施で職員のスキルアップを図る
 - センター内調理の温かく美味しい食事を提供
 - 本人合った食事をより細かな対応で提供することを可能とする
 - 調理師の得意料理の提供

- 車輛購入の検討
 - 小型車の購入
 - 近隣に狭い道路が多い
 - 送迎範囲を拡大
- センターの老朽化への取り組み
 - センターの改修
 - 浴室
 - レイアウト変更
 - 機械浴の新規購入
 - トイレ
 - 床の張替え
 - センター内のレイアウトの変更を検討
- 障がい者デイへの積極的な取り組み
 - 障害者の利用を積極的に受け入れる

富洲原複合型サービスセンター（看護小規模）【登録定員：29名】

● 主な指標

*2024年度：2025年3月の見込値を含む

	2024年度*	2025年度 目標
登録者数	17名	20名（+3名）
平均要介護度	1.9	1.9 （±0）
単価（人・月）	269,200円	275,877円（+6,677円）

- 実現するための取り組み
 - 稼働率向上
 - 営業の強化
 - 近隣病院・地域連携室・居宅介護支援事業所へ、看護小規模多機能型居宅介護のサービスの特性を説明
 - 地域包括支援センターへの営業
 - 地域包括支援センター併設病院へ毎月の営業
 - 地域の慢性期医療病院への営業回数の増加
 - 定期的な空き情報の案内
 - 泊りの利用者を増やす方向で家族に営業
 - 平均要介護度
 - 個人クリニックとの連携強化
 - 個人クリニックへの先生向けにサービスの特性を説明
 - 看取り対応の実施
 - 医療依存度の高い利用者の受け入れ
 - 訪問看護が休日にも利用できることをアピールする。
 - 加算について
 - サービス提供体制強化加算（Ⅰ）の算定の継続
 - 訪問体制強化加算の算定の継続
 - 栄養アセスメント加算の算定を実現
 - 介護職員等ベースアップ等支援加算の継続
 - 介護職員処遇改善加算率の増加
 - 認知症加算（Ⅱ）（Ⅲ）の算定
 - 総合マネジメント体制強化加算（Ⅰ）の算定
 - 排せつ支援加算等新たな加算算定への取り組み開始
 - その他取り組み
 - 職員ごとの研修計画の作成でスタッフの育成を強化
 - 介護技術研修への参加
 - 理学療法士によるリハビリ
 - 訪問リハの実施
 - センター内リハビリの充実
 - 地域交流
 - 行事への参加
 - 地域への外出
 - ボランティア活動等への参加